

# 箕輪町郷土博物館だより

令和8年 冬号

## 箕輪の年中行事を紹介

### 【十二がき】

昔、1月14日小正月の夜や節分の夜に、木を2つに割った面に墨で線を書いて、入り口の両側に立てかけておくと鬼を追い払えるという「十二がき」という行事を行っていました。引く線の数や理由はそれぞれの家庭で違っていましたが、「鬼が線を数えているうちに夜が明けてしまうとされた」とか、「線を11本にしておく」と一年の月数である12本に足りないと悩んでいるうちに夜が明ける」など様々な理由で鬼を追い払うようにしていたようです。



## みのわを知ろう！

### 雛売り



大正中頃まで2月の中旬頃になると、押雛売りが松本方面から両肩に籠を担いでユサユサしながら「雛や雛、雛にひな菓子」と通る声で町の中を売り歩いていました。すると女性達が家から飛び出してきて品定めすると天神様、弁慶、牛若丸、坂田の金時、恵比寿大黒、加藤清正の虎退治など、3月3日のお祝いに買うのに迷うほどでした。中には内裏人形雛もありましたが、なかなか庶民には手も足も出ないほど高級なものもありました。

小川守人著『箕輪の磊々』より

# ふるたにんぎょうあやつ たいけんかい 古田人形操り体験会

- <sup>かいさいび</sup>開催日 令和7年2月15日(日)
- <sup>かい</sup>会 <sup>じょう</sup>場 <sup>みのわまちきょうどはくぶつかん</sup>箕輪町郷土博物館 <sup>としょこうざしつ</sup>図書講座室
- <sup>かいさいじかん</sup>開催時間 <sup>ごぜん</sup>午前10時～12時  
<sup>ごご</sup>午後 1時～ 3時

★<sup>み</sup>見るだけ、ふれるだけでもOKです。  
お<sup>き</sup>気<sup>がる</sup>軽にお<sup>こし</sup>越<sup>くだ</sup>し下さい

- <sup>こうし</sup>講師 <sup>ふるたにんぎょうしばい</sup>古田人形芝居保存会 <sup>みな</sup>の皆さん

- <sup>にゅうかんりょう</sup>入館料 <sup>むりょう</sup>無料

## ◎<sup>かいさいないよう</sup>開催内容

「<sup>ふるたにんぎょうしばい</sup>古田人形芝居」は<sup>むけいみんぞくぶんかざい</sup>無形民俗文化財に<sup>してい</sup>指定されている  
<sup>まち</sup>町を<sup>だいひょう</sup>代表する<sup>でんとうげいのう</sup>伝統芸能です。

<sup>にんぎょうしばい</sup>人形芝居の人形を<sup>にんぎょう</sup>実際に<sup>じっさい</sup>まじかで見ることが出来、人形  
の<sup>てあし</sup>手足を<sup>うご</sup>動かしたり、<sup>ふ</sup>触れたりすることができます。  
この<sup>きかい</sup>機会にぜひ<sup>にんぎょう</sup>人形に<sup>あ</sup>会いにお越<sup>こ</sup>してください。



# ふゆ はる はくぶつかんじぎょう し 冬～春の博物館事業お知らせ

びじゅつてんじしつ つき にち  
★美術展示室は 3月8日まで

あき ふゆ かいが  
「秋から冬の絵画」を

てんじ  
展示しています。



がつ にち だい えが だい  
★3月10日からは「春を描く」と題して

かいが てんじ  
絵画を展示をします。



がつ にち  
★2月28日から

みんぞくてんじしつ てんじ  
民俗展示室でおひなさまを展示します。





# ??? 箕輪学クイズに挑戦 ???

(1) 2026年は馬年です。

昔、馬のひずめを守るためにはかせていた履物は何だったでしょうか？



① そうり

② ながぐつ

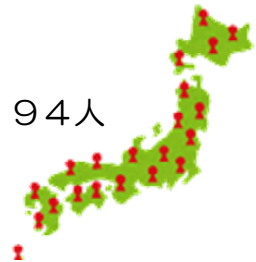
③ わらじ

(2) 2026年1月1日現在の箕輪町の人口は何人？

① 24,194人

② 25,194人

③ 26,194人



(3) 箕輪の方言で「そーだに」の使い方は？

① そうですよ。

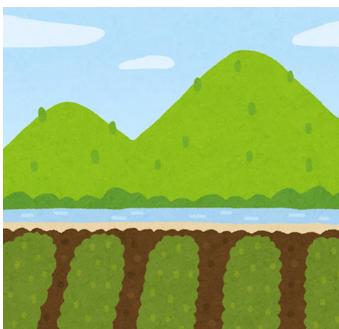
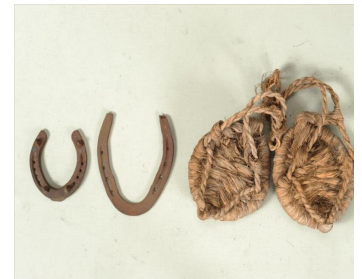
② それはちがうよ。

③ ソーダ2個ください。

## ○ こたえ ○

(1) ③馬の蹄や足の裏を守るためにわらじを履いていました。

その後ていつをつけて守るようになりました。



2) ① 箕輪町は長野県の町の中で最も人口が多い町です。

南アルプスと中央アルプスに抱かれた自然に恵まれた町です。

(3) ① この店であって？ → そーだに。(そうですよ) まちがないよ。

つかってみてね。

お問い合わせは、博物館まで Tel 79-4860

発行元：箕輪町郷土博物館